

蘭方医学の歴史を刻む



佐倉順天堂記念館

「西の長崎、東の佐倉」
江戸時代、佐倉は蘭医学の
中心地の一つとして知
られていました。
その歴史を物語る順天堂
記念館は、佐藤泰然が開
いた診療所を起源とし、
近代医学の礎を築いた場所です。

佐藤泰然が 1843 年に江戸から佐倉へ移り住み、蘭医学の塾を兼ねた診療所「順天堂」を設立。当時、佐倉は「西の長崎、東の佐倉」と称される蘭医学の拠点でした。ここからは 2 代目堂主、佐藤尚中をはじめ、多くの日本近代医学をリードする人材が輩出されています。



蘭医学の先進技術を示す江戸時代の手術風景

記念館では、当時の手術道具が展示されています。これらは江戸時代の医療技術を間近で感じられる貴重な品々で、訪問者に深い感動を与えます。



当時の手術道具

佐藤泰然は、自分の子供ではなく、優秀な人物を跡継ぎに選びました。2 代目となった佐藤尚中は、この決断を受けてさらに医学を発展させ、現在の日本医学の基盤を築きました。この姿勢が順天堂の精神そのものであり、現代にも語り継がれています。

倉順天堂記念館は、過去から現代へと続く医学の進化と人々の努力を物語る場所です。当時の医療費や展示物を通じて、江戸時代の医療の一端を垣間見ることができます。佐倉が生んだ偉大なる歴史、ぜひ訪れてみてください。

取材担当/広報委員長 辰巳 くにか

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター ホームページ



華やかに、ひな祭り展が開催されました

令和7年3月2日(土)~3月4日(月)



女性委員会委員 野崎 ちづ子 寄稿

今年で4回目となりましたひな祭り展は、新しい雛人形も仲間入りして華やかで見応えのある素晴らしいイベントになりました。伝統的な雛人形に加え創作の石雛や創作人形も飾られ会場に花を添え好評を頂きました。また、今年はネパールのインターナショナル校の生徒さん達が親に連れられ、異国の伝統行事を興味深く鑑賞していました。

会員の皆様方にはご協力ありがとうございました。



志津北・南地区 合同「地区研修会」



3月19日(水)、志津北・南地区合同の「地区研修会」が志津コミュニティセンター大ホールで開催されました。雨や小雪が降る中、94名の会員が参加。地区役員と1班から22班の班長は、9時には集合し、会場準備に取り掛かりました。



研修会は、10時より安全標語の唱和で開会。志津北地区の辰巳くにか地区長、新保暉会長の挨拶の後、第1部の講演が始まりました。



第1部：防災講演

八街市社会福祉課の今井和代氏が「自分の命は自分で守る」をテーマに講演。

元消防士の経験を活かし、「災害時に自分を守る自信がありますか？」と問いかけ、防災の備えや判断力の重要性を具体例とともに語りました。例えば、火災時の初期消火に牛乳やポットのお湯、鍋の汁など身近な液体を活用する方法が紹介されました。



講演後は、小休止を兼ねて志津北班長の指導による「気楽にやろうラジオ体操」と「円体操」が行われました。

なかでも円体操は参加者と一緒に会場を回り、合図があったときの隣同士握手と挨拶をかわし、楽しいひと時でした。

その後、尾形事務局長の挨拶とセンターの現状報告があり、地区役員紹介が行われました。

第2部：交流会

志津南地区田中地区長の乾杯の音頭で第2部がスタート。昼食をとりながら歓談し、「おしゃべり広場」としてクイズコーナーや、志津北地区班長による「ロトくじ・賢い買い方」の紹介などがあり、楽しい企画が続きました。最後のお楽しみは抽選会。特に多古米3キロをはじめとした景品が並び、会員の皆さんも大いに盛り上がりました。



最後に

今回の研修会では、各班長の協力が光りました。準備・片付けがスムーズに進み、ネームフォルダーの紐が不足した際も、班長の機転で代用品が作成されるなど、見事な対応でした。



志津北地区長 辰巳 くにか 寄稿

根郷・弥富地区 「地区研修会」



3月30日(日)、根郷・弥富地区の研修会を南部地域福祉センターA棟大広間にて昨年に引き続き開催しました。参加者は新保会長、下田副会長、尾形事務局長を含め42名での開催となりました。

第1部： 認知症講演

10時からの開催で、地区長の柴司会のもと第一部の研修がスタートしました。今回の研修は、佐倉市南部地域包括支援センターから、3名の講師が来られ、「認知症について」と題して、講演していただきました。



- 1 「高齢化」と「認知症」の関係
- 2 認知症を理解しよう
- 3 認知症の方との関わり方
- 4 認知症の予防

の項目について、お話がありました。途中、脳トレもあり皆さん和気あいあい仲良く有意義な時間を過ごされました。

第2部： 現状報告と懇親会



講演の後 第二部が開催され、松橋副地区長の安全標語唱和、新保会長挨拶、尾形事務局長の挨拶と、センターの現状報告が行われ、その後懇親会がスタートしました。



参加者の親睦を深めるために、班ごとに自己紹介と、代表の方から一言発言をいただきました。そしてお互い面識がない中でも親睦ができたのではないかと思います。その後恒例のビンゴゲームを楽しみました。



賞品は、お米が高騰しているので悩みましたが1等/多古米2キロ、2等/パックご飯10個、3等/カップ麺4個と利用頻度の高いもので、皆様に喜んでいただけたのではないかと自負しています。研修会も松橋副地区長の閉会の辞で無事終了となりました。次回もぜひご参加ください。

根郷・弥富地区長 柴 明夫 寄稿